

## 障害者雇用優良事業所見学会・意見交換会

9月11日、みちのく銀行研修会館にて実際に障がいを持っている方が働いている現場見学と、みちのく銀行さんにおける障がい者雇用の取り組みを紹介していただきました。いろいろ勉強になったのですが、特に当事業所でもまだ足りないと思いましたのが有りましたので、2つ紹介したいと思います。

まず1つ目はみちのく銀行さんでは視覚的な構造化を取り入れていました。言葉だけの説明ですと忘れてたり混乱したりする場合があるので、視覚的構造化は有効です。

2つ目は就労意欲の維持のため、1週間ごとの目標設定と毎日の作業日誌作成・フィードバックです。当事業所の就労移行支援では1週間ごとの目標の方が訓練の進捗度合いが計れると思いました。

最後の説明で採用に当たって重要視しているポイントは、①基本的なマナー②他人と力を合わせて助け合う力③素直さ④家族の協力と説明していて、今後の訓練内容の参考にしたいと思いました。

その後の意見交換会で、参加した民間企業から障がい者の接し方が分からない、法定雇用率の関係で急いで雇用したため仕事とのマッチングがとれていないなどの意見が出ました。これを聞いて、障がいを持った方を一般就労に繋げるためには職場実習を通して、時間がかかっても自分に合った仕事選びが重要だと改めて感じました。民間企業の生の声を聞く事はなかなかないので、機会があればまた参加したいと思います。

就労移行支援／のれそれ

就労支援員 龍野 真也